

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	2 級自動車整備学科 (新課程)	夜・通信	184	160	
	2 級自動車整備学科 (旧課程)	夜・通信	174	160	
工業専門課程	1 級自動車整備学科 (新課程)	夜・通信	350	320	
	1 級自動車整備学科 (旧課程)	夜・通信	340	320	
	車体整備学科 (新課程)	夜・通信	266	240	
	車体整備学科 (旧課程)	夜・通信	256	240	
(備考) 令和7年4月1日新学則施行のため、2 級自動車整備学科、1 級自動車整備学科、車体整備学科1 学年は新学則（新課程）、2 学年は旧学則（旧課程）による。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.mito.ac.jp/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.mito.ac.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社 相談役	令和6.4.1～ 令和9.3.31	企画
非常勤	一般企業 課長	令6.11.1～ 令和9.3.31	コンプライアンス
非常勤	一般企業 取締役	令和7.4.1～ 令和10.3.31	労務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備、車体整備、一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間、到達目標、成績評価に準ずる。 ・職業実践委員会（8月・3月）にて協議し変更がある場合、新しい授業計画（シラバス）を作成し国土交通省に提出する。 ・日本自動車整備振興会連合会発行による教科書の改訂があった場合、新しい授業計画（シラバス）を作成し国土交通省に提出する。	
授業計画書の公表方法	https://www.mito.ac.jp/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備、車体整備、一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。 ・学則第 12 条（成績評価）に定める授業科目の成績評価は、学期末において行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し行う。 ・各教科の修了は、全科目の履修時間が学則第 10 条別表に定める授業時数の 100%であるものとする。 ・進級及び卒業の確定は、素行状況並びに学科教科及び実習教科が修了したもので総合して校長が行う。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
・毎年、あらかじめ設定した算出方法により、生徒ごとに履修科目の成績評価を 100 点満点で点数化し、全科目の平均を算出する。また、その平均成績の分布と下位 1/4 に該当する人数及びその指標の数値を学科、学年ごとに算出している。国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備、車体整備、一級自動車整備の試験による成績＋実務作業＋人物評価＋出席状況＋授業態度＋レポート評価の総合基準に準ずる。 ・学則第 12 条（成績評価）に定める、授業科目の成績評価は、学期末において行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案し行う。 ・各教科の合格は 100 点満点による 70 点以上とする。 ・再試験で合格した者には 70 点と記録する。 ・教科の出席率（補習を含む）が 100%未満のものは、成績を記録しない。 ・試験は、学科については筆記試験、実習については実技試験を行う。ただし、場合によっては、口頭試問若しくは研究調査報告をもって、これに代えることができる。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.mito.ac.jp/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備、車体整備、一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価を基に卒業認定を実施する。 ・進級及び卒業の確定は、素行状況並びに学科教科及び実習教科が修了したもので総合して校長が行う。 ・各教科の修了は、全科目の履修時間が学則第 10 条に定める授業時数の 100%である者とする。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.mito.ac.jp/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 水戸自動車大学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.mito.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.mito.ac.jp/
財産目録	管理部に備え付け・閲覧又は配布
事業報告書	管理部に備え付け・閲覧又は配布
監事による監査報告（書）	管理部に備え付け・閲覧又は配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

令和7年4月1日新学則施行のため、1学年は新学則（新課程）、2学年は旧学則（旧課程）による。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	2 級自動車整備学科 (新課程)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1759.5 単位時間／単位	612 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1147.5 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		32 人	0 人	4 人	0 人	4 人	

教員数は新課程（1学年）、旧課程（2学年）合計の人数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施する。

学修支援等
(概要) ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネッツトヨタ茨城、ネッツトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売、トヨタ L&F 茨城等			
(就職指導内容) 受験希望企業へ会社訪問を行い、採用試験受験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、筆記試験対策、実技試験対策（実習作業指導）等を行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級自動車整備士の受験資格、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・面談、家庭訪問、学園スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施。 ・学力においては補習等で対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	2 級自動車整備学科 (旧課程)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1986.4 単位時間／単位	763 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1223.4 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		19 人	0 人	4 人	4 人	4 人	

教員数は新課程（1 学年）、旧課程（2 学年）合計の人数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施する。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する二級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施する。
学修支援等
(概要) ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネットトヨタ茨城、ネットトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売、トヨタ L&F 茨城等			
(就職指導内容) 受験希望企業へ会社訪問を行い、採用試験受験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、筆記試験対策、実技試験対策（実習作業指導）等を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 二級自動車整備士の受験資格、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・面談、家庭訪問、学園スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施。 ・学力においては補習等で対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	1 級自動車整備学科 (新課程)		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 3849.9 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	4 年		昼	単位時間／単位	1138 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	2711.9 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		20 人	0 人	3 人	0 人	3 人	

教員数は新課程、旧課程合計の人数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・国土交通省の定める一種養成施設に関する一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
学修支援等
（概要） ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	1 人 (33.3%)	1 人 (33.3%)	1 人 (33.3%)
（主な就職、業界等）茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネットトヨタ茨城、ネットトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売、トヨタ L&F 茨城等			
（就職指導内容） 受験希望企業へ会社訪問を行い、採用試験受験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、筆記試験対策、実技試験対策（実習作業指導）等を行う。			

(主な学修成果（資格・検定等）) 二級自動車整備士、一級自動車整備士の受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
・面談、家庭訪問、学園スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施。 ・学力においては補習等で対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工 業		工業専門課程		1 級自動車整備学科 (旧課程)				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 4076.8 単位時間／単位		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
	4 年			昼	1289 単位時間 /単位	単位時間 /単位	2787.8 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
120 人		20 人	0 人		3 人		0 人		3 人

教員数は新課程、旧課程合計の人数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業時間に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する一級自動車整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
学修支援等
(概要) ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	1 人 (33.3%)	1 人 (33.3%)	1 人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネッツトヨタ茨城、ネッツトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売、トヨタ L&F 茨城等			
(就職指導内容) 受験希望企業へ会社訪問を行い、採用試験受験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、筆記試験対策、実技試験対策（実習作業指導）等を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 二級自動車整備士、一級自動車整備士の受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
・面談、家庭訪問、学園スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施。 ・学力においては補習等で対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	車体整備学科 (新課程)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2751.5 単位時間／単位	890 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1861.5 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
15 人		9 人	0 人	1 人	0 人	1 人	

教員数は新課程、旧課程合計の人数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業時間に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
学修支援等
(概要) ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネットトヨタ茨城、ネットトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売、トヨタL&F 茨城等			
(就職指導内容) 受験希望企業へ会社訪問を行い、採用試験受験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、筆記試験対策、実技試験対策（実習作業指導）等を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 二級自動車整備士・車体整備士の受験資格、有機溶剤作業主任者
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
・面談、家庭訪問、学園スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施。 ・学力においては補習等に対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工 業		工業専門課程	車体整備学科 (旧課程)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2978.4 単位時間／単位	1041 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	1937.4 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		9 人	0 人	1 人	0 人	1 人	

教員数は新課程、旧課程合計の人数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業時間に準ずる。 ・授業計画の変更があった場合は年度末迄に作成し国土交通省に提出。
成績評価の基準・方法
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ履修認定を実施。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・国土交通省の定める一種養成施設に関する車体整備の学科・実習授業科目、授業履修時間、授業態度、レポート、成績評価に準じ卒業・進級認定を実施。
学修支援等
(概要) ・担任制度（副担任含む）。 ・未履修時限、未履修授業科目のサポート。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 人 (100%)	0 人 (0%)	4 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 茨城トヨタ、茨城トヨペット、茨城日産、茨城ダイハツ、スズキ自販茨城、北関東マツダ、ホンダカーズ茨城、ネットトヨタ茨城、ネットトヨタ水戸、トヨタカローラ新茨城、トヨタカローラ南茨城、茨城ヤナセ、茨城スバル、茨城三菱自動車、茨城いすゞ、茨城日野自動車、日産プリンス茨城販売、トヨタ L&F 茨城等			
(就職指導内容) 受験希望企業へ会社訪問を行い、採用試験受験企業を決定。ビジネスマナー、面接指導、筆記試験対策、実技試験対策（実習作業指導）等を行う。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 二級自動車整備士・車体整備士の受験資格、有機溶剤作業主任者
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由) なし		
・面談、家庭訪問、学園スクールカウンセラーによるカウンセリングの実施。 ・学力においては補習等に対応、欠席者に直近の補習を促進、退学ではなく休学を進言。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
2級自動車整備	150,000 円	630,000 円	815,000 円	
1級自動車整備	150,000 円	630,000 円	815,000 円	
車体整備	150,000 円	630,000 円	815,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mito.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 教育課程編成委員会を通期開催し、審議する案件を協議し教育活動を決定する。年度末、学校自己評価報告書に基づき企業からの選抜された委員に、学校関係者評価委員による評価をつけてもらい、次年度の改善等を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
茨城ダイハツ販売株式会社 取締役 管理本部長	2022 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	企業関係者
株式会社スズキ自販茨城 常務執行役員 サービス部品本部長	2022 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	企業関係者
茨城トヨペット株式会社 管理部 人財創造課 課長	2022 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	企業関係者
株式会社北関東マツダ 管理部 人財開発グループ グループ長	2022 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	企業関係者
茨城トヨタ自動車株式会社 総務部人事グループ チームリーダー係長	2022 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	企業関係者
株式会社 茨日ホールディング 人財開発部 教育Gr/監査Gr 課長	2022 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	企業関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mito.ac.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mito.ac.jp/p
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H108320100121
学校名（〇〇大学 等）	専門学校水戸自動車大学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人八文字学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		17人（－）人	16人（－）人	17人（－）人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	－	－	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				17人（－）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。